

知ってほしい、議会のこと

草津市

# 議会だより

令和7年5月1日  
発行

No. 195

令和7年1月臨時会・2月定例会号



湖国の感動 未来へつなぐ

## わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会



- 座談会 デモンストレーションスポーツ P2、3
- 審議された主な議案 P4～P7
- 総合計画特別委員会の報告 P7
- 審議結果 P8
- 21人が市政を問う会派代表質問・一般質問 P9～15
- 6月定例会の開催予定、  
高校生と市議会議員との意見交換会のお知らせ P16

聞いて  
伝える

みんなのひろば

# 「たのしいっ!」を体験しよう!

- 1 競技の魅力
- 2 デモスポに参加する意気込み
- 3 競技や運営の課題
- 4 市議会に期待すること

デモンストレーションスポーツ一覧  
 [わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025公式サイト]



## インディアカ

- 1 インディアカは、4枚の大きな赤い羽根が付いたボールを手で打つスポーツです。ルールはバレーボールに似ていて、4人制でバドミントンコートを使用し、ネット越しにラリーを続けます。年齢や性別に関係なく、初心者でも簡単にゲームを楽しむことができます。



滋賀県インディアカ協会  
 理事長 小鯛 美智代さん



▲大会の様子（におの浜ふれあいスポーツセンター）

- 2 多くの方にインディアカの魅力を知っていただき、愛好者を増やしたいです。インディアカは、協調性を育てるとともに、達成感や仲間づくりにつなげることができますので、地域での活動にぜひ取り入れていただければと思っています。
- 3 競技の普及には、インディアカのことを知っていただける機会と、誰でも気軽に利用できる練習場の確保が必要と感じています。
- 4 健幸都市を推進している草津市だからこそ、どの世代でも気軽に参加できる「生涯スポーツ」の普及が必要と感じています。日常生活の中で、スポーツを楽しむ機会を増やす取組を進めてほしいです。



滋賀県スポーツウエルネス  
 吹矢協会  
 副会長 五十里 儀隆さん

## スポーツウエルネス吹矢

- 1 スポーツウエルネス吹矢は、腹式呼吸を取り入れた気軽な楽しみながら健康になれるスポーツです。「3秒吸って9秒間息を長く吐く」という所作があり、型が決まった時の達成感と、矢が的の真ん中に命中した時の爽快感や、矢を放つ時の音はとても心地良いです。
- 2 協会運営には大変さを感じていますが、(公社)草津市スポーツ協会への加盟により、それを乗り越えて競技会を盛り上げることで、吹矢の魅力さをさらに広めるチャンスだと思っています。
- 3 頻繁に体験会を開催していますが、効果的な告知方法がなく、人が集まらず十分な啓発ができない課題があります。小・中学校や養護学校で実施している体験会から、「面白い!」と感じていただけた方には、是非練習にも参加していただきたいです。
- 4 子育て世代は苦労していると想像しています。子育て支援や教育環境の改善等を通じて、より子育てしやすい環境を整えるべく注力していただきたいと思っています。



▲活動の様子（草津まちづくりセンター）

# デモンストレーションスポーツに参加して、

デモンストレーションスポーツは、県内に住んでいる人を対象とし、年齢や性別、障害の有無に関係なく参加できるスポーツイベントです。県内で26競技が実施予定で、競技経験がなくても参加できる競技がたくさんあります。今号では、市内で開催される競技の代表の方々それぞれにお話を伺いました。

## ノルディック・ウォーク

① ノルディック・ウォークは、2本のポールを使うウォーキングで、元はクロスカントリー選手の夏場のトレーニングの一つでした。健康に良いと広まり、競技者に合わせリハビリでも取り入れられることから、医療や介護の場でも認知度が高くなっています。時間を競



▲活動の様子（ロクハ公園）

わないので、歩行に不安がある人も無理なく取り組みます。競技前後のストレッチの時間を大切にしているのですが、ポールを利用して、安定かつダイナミックな体操ができます。

② 中・高齢者に大人気ではありますが、幅広い層の方に楽しんでいただけるので、当日はさまざまな年代の方に来ていただきたいです。

③ 各地域で自主的にサークルを立ち上げていただけると大変嬉しいです。最初は、私が指導させていただきますが、その後は新たにリーダーが誕生し、固定の日を集まって競技を続けることで「あの日、あの場所へ行けば誰かに会える」という活動になると思っています。

④ 各学区地区にノルディック・ウォークを提案し、認知症予防や早期発見につながる機会の提供に協力していただきたいです。笑顔や会話が増えることで、さらに健幸な人が増えると嬉しいです、今後もそういった機会をつくるお手伝いを続けていきたいです。



滋賀県ノルディック・ウォーク連盟  
専務理事 高野元男さん

## 「たのしいっ!」の体験はこちら

### インディアカ

実施日：8月3日(日)  
会場：YMITアリーナ  
(くさつシティアリーナ)  
競技会参加申込：  
6月1日(日)～7月6日(日)  
当日参加可能な体験会  
(申込不要・参加無料)  
があります。



### スポーツウエルネス吹矢

実施日：5月18日(日)  
会場：YMITアリーナ  
(くさつシティアリーナ)  
競技会への参加申込は終了して  
いますが、当日参加可能な体験会  
(申込不要・参加無料)  
があります。



### ノルディック・ウォーク

実施日：5月24日(土)  
会場：de愛ひろば  
(草津川跡地公園区間5)  
競技会への参加申込は終了して  
いますが、当日参加可能な体験会  
(申込不要・参加無料)が  
あります。



競技会参加申込・問い合わせ

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会事務局  
(TEL.077-561-6896 / FAX.077-561-0181)

# 審議された主な議案

予算常任委員会

## 防災に備えて！

防災対策費 5億9,533万6千円

### ●審査における質疑応答／意見

#### 《緊急システムスピーカー更新の性能向上について》

**議員** 屋外スピーカーの更新について、従来豪雨災害時等において音声が届かないという課題があったが、今回の更新で解消されるのか伺う。

**市** 現状の屋外スピーカーはストレートタイプで、音の届く範囲が狭いため、遠くへ音を届けにくいという欠点があったが、今回導入のスピーカーは、ホーンアレイタイプとなり、複数のスピーカーから同じ音を同時に出しつつ、それぞれの音が伝わっていく過程で重なり合い力を増すため、従来よりも遠くまで明瞭な音を届けることができる。

**議員** 集中豪雨など有事の際も音がかき消されないのか伺う。

**市** 大雨など、反射音がたくさん出ている中では、音がかき消される可能性はあるが、多重で音を伝えるタイプなので、改善されると考えている。

#### 《防災備蓄倉庫の整備について》

**議員** 防災備蓄倉庫の整備先に県立施設があるが、県の対応について伺う。

**市** 防災備蓄倉庫整備費用計上分については、整備されていなかった市立施設と合わせ、広域避難場所に指定する県立施設の初動備品について、市が負担することで、体制を整えたいと考えている。

**議員** 県立施設の資機材購入であるため、県にも費用負担を求める考えについて伺う。

**市** 県との連携および協議はしているものの、広域避難場所として指定したのは市のため、今回の初動備品に関しては、市の負担で実施するのが望ましいと考える。

総務常任委員会が所管する事業より  
総合政策部

## 令和7年度当初予算案を可決！

一般会計  
651億8,000万円

(対前年3.9%)

特別会計  
356億8,820万円

(対前年2.2%)

合計  
1,008億6,820万円

(対前年3.3%)

## 当初予算の概要

令和7年度当初予算は、第6次草津市総合計画第2期基本計画①の5つのリーディングプロジェクト②「未来を担うこども育成プロジェクト」「地域の支え合い推進プロジェクト」「にぎわい・再生プロジェクト」「暮らしの安全・安心向上プロジェクト」「DX推進プロジェクト（第2期基本計画に新たに追加）」への戦略的な財源配分を行いながら、市行政経営改革プランに基づく、歳出全体の見直しや、働き方改革など、行財政マネジメントによる持続可能な行政経営の実現に向けて、「最小の経費で最大の効果を生み出せる」予算編成が行われました。

一般会計では当初予算としては過去最大の規模となっており、主な要因としては、新プール整備の約36億円減があったものの、わたSHIGA輝く国スポ・障スポの開催や、防災防犯対策の強化、人件費の増、児童手当給付の国の制度拡大に伴う増、社会保障関係経費の増などにより予算規模を押し上げたもので、好調な市税収入も背景とし、将来世代に負担が及ばないように、配分が行われました。

また一般会計と7つの特別会計を合計した全会計の予算規模においても、過去最大の規模となりました。

①第6次草津市総合計画第2期基本計画

計画期間は、令和7(2025)年度から令和10(2028)年度までの4年間。

②リーディングプロジェクト

基本構想「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健康創造都市 草津」の実現に向けて、各施策の中でも重点的に取り組む計画全体を先導していく役割を担う事業をまとめたもの。

# 1月臨時会・2月定例会について

令和7年1月29日に1月臨時会を開き、議案1件が市長から提出されました。

令和7年2月27日から3月26日まで2月定例会を開き、議案36件が市長から提出されました。なお、議員からは、条例案2件、意見書案4件を提出しました。

今号では、2月定例会中の3月14日から24日までの各常任委員会および総合計画特別委員会に付託された予算案や条例案などを慎重に審査した中から、いくつかの質疑等を要約してお伝えします。

## 結婚を望む人の巡り合いを応援

### 結婚相談支援費補助金 37万5千円

(事業の概要) 結婚に向けて積極的に行動しようとする人を支援するため、結婚希望者を支援する滋賀県結婚支援センター「しが・めぐりあいサポートセンター『しが結』」(以下、しが結)の会員登録料15,000円の半額7,500円を補助。50人分を計上するもの。

#### ●審査における質疑応答/意見

**議員** しが結の会費は、2年で15,000円。民間の結婚相談所と対比しても安価であるが、市が補助する目的について伺う。

**市** サービス開始2年で、2,674組のお見合い、865組の交際成立。県では会員数に比例し、交際数が増えるため、会員数の増加が必要としている。経済的に安心して登録してもらいたい。また、結婚を希望する方の支援につながる。

**議員** 「結婚につなげたい」としているが、補助対象者が50人ではその効果は限定的と考えるがいかがか。

**市** 結婚につながるかの評価は難しいが、県と一緒にPRすることで、マッチングにつなげていきたい。

**議員** 民間にも同様のサービスは存在する。しが結に限定して補助する理由は何か。

**市** しが結では、滋賀県に住む人に対して、AIマッチングと併せて、相談やセミナーなどの支援等のサービスが受けられる。経済的負担と併せて県が行うしが結を補助対象とした。

**議員** 出合いを求める人に対する支援については理解するが、結婚・出産等に関する価値観の押し付けはできないと考える。多様な生き方が求められる時代なので、慎重に進められたい。

**市** 結婚後の他市への流出等も想定できるので、取組内容やPR等にも注力して、しっかり今後の制度設計を行っていく。

文教厚生常任委員会が所管する事業より  
子ども未来部(R7.4.1~こども若者部)

## 市立プールでの水泳授業の開始 まずは老上小学校から実施

### プール解体等工事費・工事監理業務 3,696万1千円

### 市立プール活用事業費(水泳学習移行) 990万4千円

(事業の概要) 老上小学校では老朽化が進む学校プールの建替えを行わず、令和6年に完成した市立プールを活用して水泳授業を実施するもの。市立プールでのインストラクター費および移動のためのバス代を計上。本年度は、必要な教室数確保のため学校プールを解体し、仮設校舎を建設するもの。

#### ●審査における質疑応答/意見

**議員** 市立プール活用事業費(水泳学習移行)では、水泳学習業務委託費544万円、バス業務委託費445万円を計上。積算根拠について伺う。

**市** 水泳学習業務委託費は、児童一人当たり6,000円/年を児童数908人分で乗じたもの。バス業務委託費は、各学年水泳授業を各学年5日間組み合わせる都合で、11日間、バス計38台分が必要となり、その経費分。

**議員** 従前、プール授業は10コマ分行われていた。どのように授業時間の確保を行うのか伺う。

**市** 午前に2学年、午後に1学年を実施。入水時間は、1回当たり50分から60分程度を想定しており、合計で250分から300分可能と考える。

**議員** 水泳学習業務委託費、児童一人当たり6,000円の根拠について伺う。

**市** プール利用料金とインストラクターの報酬分である。市立プールを利用することで、他市町との比較において安価となっている。

**議員** 今後、60年を経過し、老朽化した学校プールの更新工事費用や水道代等を鑑みた場合、市立プールの利用に対するコストメリットはあると考えるか。

**市** 今回は、60年を経過したプールを更新せずに、市立プールを使用するものであることから、コストメリットはあるものと考えている。

文教厚生常任委員会が所管する事業より  
教育委員会事務局

総務常任委員会

予算常任委員会

【議第13号】草津市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案

賛成多数

仕事と育児や介護の  
両立支援

(事業の概要) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、国家公務員において、時間外勤務の制限の対象拡大および仕事と介護の両立支援制度に関する周知の強化等の見直しが行なわれたことから、本市においても国に準じた所要の改正を行うものであり、議会の議決を求める。

●審査における質疑応答／意見

**議員** 3歳に満たない子を持つ職員が何人程度いるのか、その対象が小学校就学の始期に達するまでの子へ改正になった場合、どのぐらいの拡大になるのか、また、職員にとって有利な制度として利用されているのかについて伺う。

**市** 扶養での把握になるが、3歳未満の子を扶養している職員は102人、制度拡大後の人数として現在把握しているのは186人で、84人の増加を見込んでいる。実態として各所属で本人からの申し出や個々の事情に応じて時間外勤務を行わせないよう配慮はされているものと認識している。今回の条例改正を契機に改めて周知を図っていきたいと考えており、さらに有効な制度として活用いただけるよう取り組んでいく。



快適な暮らしのために  
ごみ出し支援スタート

高齢者等ごみ出し支援事業費(538万8千円)

(事業の概要) 今後さらに高齢化が進み、核家族化や高齢者のみの世帯の増加などにより、ごみ出しが困難な世帯に対してごみ出し支援を行うもの。

●審査における質疑応答／意見

**議員** 事業費に530万円計上されているが、コミュニティ支援型と直接支援型の特徴について問う。

**市** コミュニティ支援型、直接支援型ともに申請の受付審査は、健康福祉部で行う。コミュニティ支援型は、対象世帯の自宅からごみ集積所までごみ出しを行う団体を募集する。地域の助け合いが難しい場合、直接支援型(100世帯を想定)ということで、市が自宅玄関先まで直接ごみ収集をする事業で予算化する。

産業建設常任委員会が所管する事業より  
健康福祉部・環境経済部

指定ごみ袋購入費削減と  
ごみ袋制度見直しの効果

指定ごみ袋購入配布 1億421万2千円

●審査における質疑応答／意見

**議員** ごみ袋購入費が、昨年度より約2,400万円削減されている。焼却ごみ袋の制度見直しについての分析はいかがか。

**市** 焼却ごみ袋のサイズを3種類にしたことや、旧袋の在庫がご家庭にあることを勘案して、在庫見込数を推計し作成枚数を抑えた。令和5年10月からの制度見直しの効果として、市民1人1日当たりの焼却ごみ量は、約6%減少している。(物価高の影響等の約3%を含む)



産業建設常任委員会が所管する事業より  
環境経済部

## 総合計画特別委員会 第2期基本計画策定に向けて

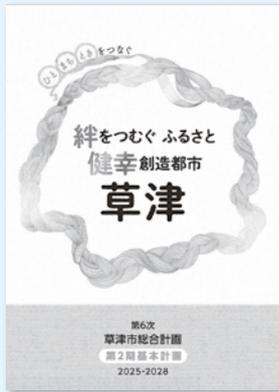
令和5年10月に「総合計画特別委員会」を設置し、第6次草津市総合計画第2期基本計画（計画期間：令和7年度から令和10年度）の策定に当たって調査研究を行いました。

総合計画は、市政運営の最上位の計画であり市政の根幹となることから、議会が積極的に議論し、市全体の意思を反映した計画にするとともに、策定経過を市民に分かりやすいものにするべきであるという考えのもと、委員会を7回開催し、計画の策定方針やアンケート、第1期基本計画の総括評価、第2期基本計画の施策体系案、リーディング・プロジェクト案、ウェルビーイングとの関連性等について、策定段階に応じて、当局から説明を受けながら議論を重ね、令和7年2月定例会において、第6次草津市総合計画第2期基本計画を全員賛成で可決しました。

第6次 草津市総合計画	年度													
	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14		
基本構想	← 構想期間【12年間】 →													
基本計画	← 第1期【4年間】 →				← 第2期【4年間】 →				← 第3期【4年間】 →					
	総括評価 計画策定				総括評価 計画策定				総括評価 計画策定				総括評価 計画策定	

今後は、この第2期基本計画が、第6次草津市総合計画基本構想で掲げる将来ビジョン、「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと健幸創造都市 草津」の

実現に向けて、着実に推進されることを期待するとともに、その進捗や成果を適切に評価し、議会としての役割を果たしていきます。



### 全員賛成

## 社会に若者のリアルな声を

**（事業の概要）** 子ども若者政策推進のため、附属機関の名称を「草津市子ども若者会議」に改め、担当事務を「こども基本法」に基づくものとする。また、審議会委員に若者と一般公募委員を加え、定数を拡充する。

#### ● 審査における質疑応答／意見

**議員** 草津市子ども若者会議の審議会委員の枠が2人増えるとのことだが、公募する若者世代が1人であることについて伺う。

**市** 従来から、一般公募として子育て世代を含むさまざまな世代の方に参画していただいている。若者委員に加え、一般公募委員を4人から5人に増やす中で、さらに若い世代や子育て世代など当事者からの参画を得ようとしている。



**議員** 当事者の若者に参画してもらう取組について、年齢制限が18歳から25歳以下というのは若者の定義であるのか。

**市** 若者の定義として年齢は記載していない。しかし、公募委員の要件がまず18歳以上であり、より若い世代の中高生の気持ちが分かる年代に来てもらいたいという意味で25歳以下と設定したいと考えている。

**議員** こども若者会議について、審議される中身は幅広く、子育ての専門的な知識が必要である。18歳の委員に専門的な知識が必要になるが、その点について伺う。

**市** 現在、20人の委員がいる。それぞれの委員が全ての分野に精通しているわけではない。有識者として大学の先生にも入っていただいているが、各委員が所管されている分野について意見を聞いている。一方、若者についてはさまざまな分野で議論をしていく中で、若者の視点をもっていろいろな議論を聞いていただく、そして、意見を言っていただくことが最初の一步だと考える。



# 議決結果一覧表



議員別の表決結果は  
こちら!



1月臨時会



2月定例会

## 【1月臨時会】

議案番号	件名	付託先	結果
議第1号	令和6年度草津市一般会計補正予算(第8号)	予算	原案可決

## 【2月定例会】

議案番号	件名	付託先	結果
議第2号	令和7年度草津市一般会計予算	予算	原案可決
議第3号	令和7年度草津市国民健康保険事業特別会計予算	予算	原案可決
議第4号	令和7年度草津市財産区特別会計予算	予算	原案可決
議第5号	令和7年度草津市学校給食センター特別会計予算	予算	原案可決
議第6号	令和7年度草津市介護保険事業特別会計予算	予算	原案可決
議第7号	令和7年度草津市後期高齢者医療特別会計予算	予算	原案可決
議第8号	令和7年度草津市水道事業会計予算	予算	原案可決
議第9号	令和7年度草津市下水道事業会計予算	予算	原案可決
議第10号	草津市部設置条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第11号	草津市附属機関設置条例の一部を改正する条例案	文厚 産建	原案可決
議第12号	草津市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例および草津市税条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第13号	草津市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第14号	草津市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第15号	草津市特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第16号	草津市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第17号	草津市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第18号	草津市税条例の一部を改正する条例案	総務	原案可決
議第19号	草津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	文厚	原案可決
議第20号	草津市手数料条例の一部を改正する条例案	文厚 産建	原案可決
議第21号	草津市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例および草津市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文厚	原案可決

議案番号	件名	付託先	結果
議第22号	草津市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例案	文厚	原案可決
議第23号	草津市地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例の一部を改正する条例案	文厚	原案可決
議第24号	草津市金融審査会設置条例を廃止する条例案	産建	原案可決
議第25号	草津市布設工事監督者の配置基準および資格基準ならびに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例案	産建	原案可決
議第26号	第6次草津市総合計画第2期基本計画につき議決を求めることについて	総計	原案可決
議第27号	市道路線の認定につき議決を求めることについて	産建	原案可決
議第28号	市道路線の廃止につき議決を求めることについて	産建	原案可決
議第29号	令和6年度草津市一般会計補正予算(第9号)	予算	原案可決
議第30号	令和6年度草津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	予算	原案可決
議第31号	令和6年度草津市財産区特別会計補正予算(第2号)	予算	原案可決
議第32号	令和6年度草津市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	予算	原案可決
議第33号	令和6年度草津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	予算	原案可決
議第34号	令和6年度草津市水道事業会計補正予算(第3号)	予算	原案可決
議第35号	令和6年度草津市下水道事業会計補正予算(第2号)	予算	原案可決
議第36号	追分町財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	即決	同意
議第37号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	即決	別段異議はない
会第1号	草津市議会委員会条例の一部を改正する条例案	即決	原案可決
会第2号	草津市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例案	即決	原案可決
意見書第1号	学校給食の安定供給に向けた国の支援を求める意見書	即決	原案可決
意見書第2号	饗庭野演習場実弾訓練事故の再発防止を求める意見書(案)	即決	否決
意見書第3号	我が国の防衛力と防衛体制の強化を求める意見書	即決	原案可決
意見書第4号	卑劣なテロ行為の根絶を求める意見書	即決	原案可決

〔付託先〕 議案の審査を行う所管委員会。なお、付託しない場合は、本会議で即決。〈 〉は件名に対する補足説明を表します。

# 代表質問

3月10日には、市議会の7つの会派から、会派を代表して議員が代表質問を行いました。質問と答弁の内容の一部を要約して紹介します。

輝勢会

小野 元嗣



- 令和7年度当初予算概要の市長の考え方
- 安全・安心の向上に向けた取組強化



議員

一般会計予算規模では、過去最大の651億8,000万円、全会計予算では1,008億6,820万円として本市で初めて1,000億円を超える予算になった。国スポ、防災、児童手当、職員人件費等の各関連が主な要因であるとの説明があったが、この予算規模が最適だと考える理由を問う。

**市** 近い将来、人口減少局面を迎え、人や資金、情報といった経営資源が大きく制約されることが予想される中でも、市民の利便性向上や質の高い行政サービスを提供し、選ばれ続ける都市としてさらなる発展を遂げるため、5つのリーディング・プロジェクトを中心に、戦略的な財源配分を行った。その結果、第2期基本計画の初年度にふさわしい「輝く次代（みらい）を共に創りあげる」予算として、地域の課題解決や市民ニーズに対応し、将来を見据えた最適な規模の予算が編成できたと考える。

議員

健康都市づくりの基本の前提に、市民が安全で安心して住めるまちだとの実感が必要。犯罪抑制対策として、警察官増員や交番の適正配置等、犯罪抑制に対する市長の意気込みと、防犯カメラ設置や防災備蓄倉庫整備、避難所運営・支援体制強化についての考えを問う。

**市** 今後2年間で、警察官の採用増と交番機能強化を図ると県警から聞いている。国・県に対し、警察官の増員や交番の増設も含め、地域全体の体制強化を粘り強く要望していく。また、既設の子ども見守り防犯カメラ350台と合わせ、地域コミュニティの防犯意識の向上を図ることで、犯罪に対する防御力の高いまちづくりを進める。災害時における被害状況の迅速な把握は、被害の最少化や避難所運営において重要で、各学区・地区との円滑な連携が必要となることから、各地域の訓練等に参画・支援する中で、地区計画の見直しを繰り返し、練度を高めていく。

草政会

瀬川 裕海



- 令和7年度当初予算概要の考え方
- 市の危機管理



議員

地域経営の視点に立ち、経営感覚を持って最小の経費で最大の効果を生み出すために、どのように事業、施策を展開するのか、また、市長の予算編成の考え方や思いをどのように全職員に周知徹底されたのか伺う。

**市** 令和7年度予算編成の考え方の全職員への周知徹底について、各部局がそれぞれのマネジメントを発揮し、社会情勢の変化や市民ニーズを柔軟かつ的確に捉え、施策の重点化や業務の効率化に向けた取組を行うことにより、最小の経費で最大の効果が得られるものと考えている。そのことから、市の最高協議機関である部長会議で、各部長に対して予算編成方針を示した上で、各所属長には別途、説明会を開催し、その主旨が全職員にいきわたるよう徹底した。

議員

自然災害が数多く発生しているが、過去の自然災害で得た教訓を生かされるよう、備蓄品の用意と人員体制確保、市民の防災意識を高める手立てについて伺う。

**市** 市では防災備蓄倉庫を全広域避難所に配置していないことから、広域避難所で倉庫が未設置の市立4施設へ防災備蓄倉庫を整備するとともに、県や民間所有の広域避難所8施設に対しては避難所開設に係る資機材を令和7年度に購入し、体制を整える。さらに、集中管理型の防災備蓄倉庫を新設し、トイレや簡易ベッド、炊き出し資機材等の備蓄品を拡充し、避難所生活の環境改善を行う。また、人員体制については、市職員が直接、各広域避難所に参集し、直ちに開設に着手する制度への変更を進めている。さらなる市民の防災意識向上のためには、市が実施している防災対策への理解や防災知識を深め、自助・共助の能力の底上げが重要で、自主防災組織を中心に各団体の要請に応じ、今後も防災訓練や出前講座を実施するとともに、消防署と連携して実施している市民防災員認定講習において、町内会推薦枠に加え、一般公募の定員拡大を図るなど、手立てを工夫していく。

## 市民派クラブ 杉江 昇



- 有償ボランティアと労働者協同組合
- 午前中5時間授業制草津プラン



**議員** 過日、市としが共同労働ネットが主催するセミナー「地域づくりを仕事にする新しい働き方労働者協働組合」に参加した。地域や広域を担う人をフォローして、やりっ放しではなく、地域を自らが有償で保守する手法を人口減少が始まるまでに習熟する必要がある。

**市** 労働者協同組合は、持続可能で活力ある地域社会の実現をめざし、多様な地域課題を解決するための効果的な手法である。自ら出資し経営者となり、働くという仕組みは、地域の主体性と特性を生かした協働のまちづくりに取り組む手法として有効な選択肢であると考えている。現在策定中の第3次草津市協働のまちづくり推進計画でも老上西学区の有償ボランティアの取組を好事例として取り上げている。今後、人口が減少していく中で、労働者協同組合や有償ボランティアは、地域の課題解決や活性化、また、担い手を確保する手法として市域全域に拡大すべく支援の充実を図っていく。

**議員** 午後の学びタイムは、さまざまな授業内容があると聞いている。児童が机をコの字型にして、学級担任は「教える人」から「コーディネーター」になって学級全体で課題の修正や解を求めるコミュニティの姿に期待がかかるが、保護者説明会で意見や質問はあったらどうか。

**市** 実施した説明会では、学習に関する質問や意見が多かった。特に、新たに設ける「学びタイム」には、児童が主体的、協働的に学習する機会が増えることを期待する意見や、どのような学習になるのか心配する意見もあった。令和7年度の秋には、各校でモデル実施を行い、新たな日課への児童の反応や教職員の意見等を確認する。その結果を踏まえ、改めて説明会を開催し、保護者の理解を深めていきたいと考えている。

## 公明党 面垣 和美



- 草津市総合計画と地方創生2.0の戦略的対応
- 地域のインクルージョン推進における共生社会の構築



**議員** 第6次草津市総合計画の中に、地方創生2.0の要素をどう組み込むのか、そして追加すべき取組について伺う。若者・女性の定着には、地元高校・大学・企業の連携によるキャリア形成支援が鍵。新産業創出では、地域資源を生かした高付加価値産業の振興や、GX・DXの推進が重要となる。国の交付金倍増を活用し、雇用環境等、持続可能な地域経済の発展をめざすことが求められるものと思うが所見を伺う。

**市** 地方創生2.0は、安心・安全に暮らせる持続可能な社会を創出し、多様な幸せを実現するための社会政策であり、市が将来に描くまちの姿と同じ方向だと考える。若者の定着支援については、現在も関係機関と連携しているところだが、今後も力を入れていきたい。立命館大学の新産業創出に向けた取組が、今後加速度的に進むことが期待され、GX・DXの徹底活用は、環境保全と経済、利便性の向上をめざすために必要であり、情報収集していきたい。

**議員** インクルージョンの推進において、障害児の地域参加を支援する児童発達支援センターの取組や課題について伺う。また、実態調査結果から、災害時の避難支援強化が課題で、特に重症心身障害児や医療的ケア児の支援者確保が重要で、機能別消防団の活用や避難訓練の実施について伺う。

**市** 取組については、サービス利用計画の相談を行い、地域社会での体験につなげている。課題は、一人一人の障害特性に応じたきめ細やかな支援の充実がさらに必要と考えている。避難支援の取組は、指定福祉避難所の指定に向けた取組を進め、障害者の避難支援体制の強化に努める。支援者確保における機能別消防団員の創設については、課題解決の手段の一つとして検討する。避難訓練の実施については、所要の調整が整えば実施を検討していきたい。



- 保育所・学童保育所の待機児問題！
- 40分授業や過大規模校



議員

保育所・学童保育所で待機児童を生じさせない体制が、子育て応援からも重要な対策。2024年度、保育所の年度途中の待機児は450人を超えている。待機児童解消は喫緊の課題であり、保育所、学童保育所の取組状況について問う。

市 2月中旬の二次調整後の保育所等の入所決定者は、4,361人、入所保留者が211人。児童育成クラブの2月末の三次調整後の入会決定者は、2,263人、保留者が258人。調整中であり明確ではないが、保育所等で低年齢児を中心に、少なからず待機児が発生する見込み。児童育成クラブにおいても高学年を中心に待機児童の発生を見込んでいる。新たな保育士確保策を積極的に進め、可能な限り待機児童の発生を抑制するよう努める。

議員

①令和8年度から小学校授業（1コマ45分）を40分にし、午前中に5コマにする制度導入を準備しているが、保護者・教職員アンケートからも丁寧な対応を求める。②老上小学校の児童数増が続き、教室不足が見込まれているが、対応を問う。③市立プールでの水泳授業のメリットおよびデメリットを問う。

市 ①アンケートの結果、午前5時間制草津プランに対する肯定的な意見とともに「学力の低下や就労への影響」等を心配される意見もあり、モデル実施後に児童の反応や教職員の意見も聞き、丁寧に制度導入を進める。②老上小学校は、令和6年度と令和12年度の比較をすると、児童数が約400人、クラス数が15学級程度増加見込み。分離・新設は課題も多くあり、現時点では考えていない。③市立プールの活用は移動時間が増えるため授業時間が短くなるが、1学級に2人のインストラクターを配備し、専門的・少人数指導で泳力を付ける。



- 地域幸福度(Well-Being)指標の活用
- 草津駅周辺エリア未来ビジョン



議員

ウェルビーイング(Well-Being)をどのように定義し、「地域幸福度(Well-Being)指標」が政策立案にどのような影響を与えるのか、また、その結果を市民へどのように還元していくのかについて問う。さらに、政策立案に向けた職員研修についても問う。

市 市は、第6次総合計画第2期基本計画において、「地域幸福度(Well-Being)指標」を活用しながら、生きがいもち、健やかに幸せに暮らせるまちをめざすことで、市民のウェルビーイングを実現していきたい。毎年度のアンケート調査を実施し、その結果を公表するとともに、市民の暮らしや幸福感を意識した施策に活用し、市民へ還元する。本年度は、OASIS研修を実施し、指標活用を推進。来年度以降も研修を継続し、政策デザインの実践者を育成する。さらに、ウェルビーイングの向上を重視し、持続可能なまちづくりを進めることで、市民一人一人が生きがいを持ち、健やかに幸せに暮らせる環境を整えていく。

議員

小学生から高齢者までが参加するKUSATSUまちなかクロッキー会議で多様な意見が出され、「くさつDREAM MAP」にまとめられた。その一例として、草津駅西口駐輪場跡地の活用アイデアも提案されている。市として、この提案にどのように取り組むのか問う。

市 KUSATSUまちなかクロッキー会議は、市民にまちなかでやりたいことや理想の姿を自由に描いていただいたもので、市はその夢を実現できる仕組みが重要と考えている。そこで、令和7年度設置予定の「草津まちなかエリアプラットフォーム」に、新たに市民のアイデアを支援するデザイン会議を設け、具体的な取組を推進する。また、西口駐輪場の跡地については、駅西エリアの景観を考慮し、当面はみどりの広場として活用する予定である。市民の意見を踏まえながら、今後の活用方法を検討し、まちなかの魅力向上に向けた取組を進めていく。

## 草津維新の会 田中 詩織



- [Well-Being] の向上につながる「あそび」とまちづくり
- 小・中学校における衛生環境管理の重要性



議員

「あそび」には創造性向上やストレス軽減、つながりの強化など多くの利点がある。国内外では、遊び心を取り入れたまちづくりが進んでおり、市でも公園や公共施設に工夫を加えることで、地域の魅力向上や世代間交流が期待できると考える。Well-Beingの視点から、遊び心のある公共空間づくりについての見解を伺う。

市 「地域幸福度 (Well-Being) 指標」でも公共空間は重要な要素とされ、その在り方は、私たちの幸福度、ウェルビーイングに大きな影響を与える要因と考えられている。公共空間は、誰もが社会とつながれる、ゆるやかな関わりしろであり、公共空間の豊かさを高めていくことは、誰もが幸せに暮らせる社会の実現につながるものと考えていることから、公共空間の整備にあたり、「Well-Being」の向上につながる「あそび」の要素も大切であると考えている。

議員

子どもたちが安心して学べる学校環境の整備は自治体の重要な責務である。学校の衛生環境は感染症予防や快適な学習環境の確保に直結するが、学校を訪れると清掃が行き届いていない点が気になり、トイレの不潔さが目立つ。実際に「トイレが汚いから我慢する」との声もあり、子どもたちへの影響が心配である。教師の負担軽減の観点からも清掃体制の見直しが必要ではと考えるが、現状と課題、衛生管理の重要性、今後の方針について伺う。

市 清掃活動は、教員の指導のもと、児童・生徒が清掃時間の中で行なっている。清掃が十分でない場合、教員が都度清掃を行い、特に小学校においてトイレの清潔保持が教員の負担となっている状況である。トイレの清掃は、子どもの安心安全な学校生活にとって重要であることから、各小学校での状況を把握し、適切な清掃の在り方について検討していく。

## 質疑および一般質問

3月11日、12日には、14人の議員が、議案に対する「質疑」や市政に関する方針や考え方などについて質す「一般質問」を行いました。質問と答弁の内容を一部要約して紹介します。

西田 剛 草政会



### 担い手づくりとコミュニティの希薄化対策

議員 町内会やまちづくり協議会などの担い手づくりと地域コミュニティの希薄化について、対策等を問う。

市 町内会については、誰もが役員を担える環境を整えることが人材確保および活性化につながることから、町内会長の多くが1年交代であることを踏まえ、町内会長宅への戸別訪問の実施や住民アンケートのひな形の提供など、現状の分析と対応に向けて対処しているものの、確かな成果を得るまでに至らず、打開策を模索している状況である。

一方、各種団体やまちづくり協議会については、若い世代や意欲的な人が担い手として活躍できる環境を整えることが重要であると考えている。実際に、カフェなどの居場所や特産品の開発・販売、有償ボランティアによる生活支援などを通じて、多様で豊かなつながりが生まれ、若い世代の方々には、興味・関心のある分野への参加から、徐々に様々な地域づくりの分野へと広がるなど、地域コミュニティの活性化につながってきていると感じており、こうした地域に根差した好事例が市域に広がるよう、引き続き、町内会、各種団体、まちづくり協議会から意見をいただきながら有効なまちづくり、地域づくりに向け取組を継続したいと考える。

中島 美徳 輝勢会



### MICE誘致事業

議員 MICE誘致事業補助金について、路線バスやタクシー等との連結などの交通アクセスの課題、交通渋滞の課題に対する考えや施策の展開について問う。

市 この事業は、立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)や駅前のホテル、キラリエ草津、YMITアリーナ等の大規模な施設での開催が想定され、規模によっては一時的な交通アクセスの改善が求められることも想定する。移動には、補助対象としている借上げバスの利用をお願いしたいが、補完的な移動手段として公共交通機関の利用も考えられるため、誘致事業者から事前の相談があれば可能な限り対応していく。

### 高齢者の外出支援サービスの充実

議員 福岡市では、高齢者の社会参加を促進するため「高齢者乗車券交付事業」を実施しており、市においても同様の事業をすべきと考えるが、市の見解を問う。

市 市の高齢者外出支援サービスは、中重度の要介護の支援が目的のため、福岡市の事業とは趣旨が異なる。しかし、高齢者の社会参加を促進することは大変重要と考えており、必要とする人に適切な支援が届くよう実態把握を行い支援内容について調査・研究していく。

その他の質問

- シェアサイクルなどの導入
- BRT等の次世代交通システムの導入

## 横江 政則 輝勢会



### 老人クラブ活動に対する今後の取組

**議員** 高齢者福祉行政について、今日までの対応を踏まえ、今後新たにどのように取り組まれるのかを問う。

**市** 今後の市の取組については、草津あんしんいききクラブ第9期計画において、「活躍できる場づくりの充実」の施策の中で、これまでの取組の支援に加え、老人クラブ活動の活性化および会員数増加に向けた取組を老人クラブ連合会の皆様と共に検討することとしている。

### まちづくりセンターでの証明書交付サービス

**議員** マルチコピー機が、コンビニという名前だけで利便性の持てないところに設置され、誰もが生きがいを持てる健幸都市と言えるのかを問う。

**市** コンビニ等が立地していない学区は、サービスの低下を防ぐため、地域まちづくりセンターにマルチコピー機を設置することとしているが、新たにコンビニが立地された際には、撤去する方針としていることから、ご理解をお願いしたい。

#### その他の質問

- 今後の高齢者福祉対策の実現
- 町内会単位での支援
- こども環境会議の実績と展望

## 田中 香治 草政会



### 込田会館の貸出や支援の在り方

**議員** 込田会館は集会所として草津学区自治連合会が借用し管理してきた。令和5年3月末日で、市に返還され、投票事務以外には使用されていないが、新たな活用方法について伺う。

**市** 込田会館の新たな活用方法については、草津学区ひと・まちいきいき協議会との使用貸借を前提に、例えば会館の一部をこどもや高齢者の居場所など、公共の福祉に寄与する利用目的で、かつ、地域にて合意形成を図りながら市に提案をいただければ、地域の皆様と共に検討し実現することは可能と考えている。

### 史跡草津宿本陣の利活用

**議員** 令和8年に一般公開30周年を迎える草津宿本陣。令和7年度予算概要に「こども本陣クラブ」を計上している、この事業の特徴を伺う。

**市** こども本陣クラブは、有志のこどもたちが定期的に集まり、本陣の魅力を伝える方法について探求するクラブ活動。本陣に愛着を持ち、「自分たちのまちの宝物」として自ら発信できるこどもを育てることを目的としている。

## 先成 俊士 市民派クラブ



### 公共交通における運転手不足

**議員** バス運転手の確保策として、岐阜市では市営住宅を無償で提供する制度を全国初で導入。本市での導入検討について伺う。

**市** 本市の市営住宅の応募倍率は、県内で最も高く10倍を超えている。こうした状況から困窮する低所得者向けに住宅を提供することを目的としている市営住宅については、現時点においてバス運転手の確保策としての導入は難しいと考えている。

### 公共交通の利用促進

**議員** 利用促進問題の解決策として、金沢市では行政が仲介し、バス事業者と利用者が協定を結ぶバスターリガー方式を導入。本市での導入検討について伺う。

**市** 現状検討段階には至っていない。持続可能な公共交通ネットワークの形成には、利用者の理解と協力が必要不可欠である。公共交通の情報発信や他市事例の調査・研究をし、本市の公共交通の形成に向けて検討していきたい。

#### その他の質問

- 新たな交通システムとしてBRT導入検討状況

## 福田 茂雄 輝勢会



### 災害時の医療救護活動

**議員** 災害時医療救護活動協定書の更新状況、緊急用医薬品等の確保および気流検査（粉塵計配備）について伺う。

**市** 災害時医療救護活動に関する協定書は、毎年度更新延長しているとともに医薬品確保については、薬剤師会をはじめ滋賀県と調整し、必要な対応を検討している。粉塵検査については、従来通り気流検査で実施していくが、災害時における必要性については、関係機関と協議を進めながら検討していく。

### 草津市歯科保健事業

**議員** 節目歯科健康診査の対象年齢の拡大および、妊婦歯科健康診査の無料化の根拠と、フッ化物洗口事業の実施について伺う。

**市** 節目歯科健康診査は、口腔状態が悪化してから受診傾向がある若者世代に向け対象年齢を拡大。妊婦歯科健康診査は、安心してこどもを産み・育てることができるまちの実現を図るための取組として無料とした。フッ化物洗口は、実施時間、安全性の確保、保護者の同意等課題がある事業なので、他市町の状況について調査していく。

## 野村 友子 草津維新の会



### こども・若者のチャレンジを支援する制度や環境づくり

**議員** こども・若者の「やりたいこと」を実現できるための補助金制度の創設や既存事業における拡充について市の考えを伺う。

**市** 現時点では、こども・若者に限定した新たな制度の創設や拡充の検討はないが「こども・若者の声を形に」プロジェクトで対話事業から出た提案を協働事業としてフィードバックすることで、こども・若者の意見表明と社会参画が進んでいくよう取り組む。

### 高校生・大学生のサードプレイス

**議員** アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)の法人化で、より幅を広げた取組を期待するが、若者主体の活動やチャレンジができる場になれば、さらに活気のある居場所になるのではと感じるが市の考えを伺う。

**市** これまでも大学生が社会実験等に参画したり、まちの魅力向上や地域課題の解決をめざし、ボランティアスタッフとして主体的に関わるなど、多様な活動やチャレンジの場としての機能を果たしているが、大学生のみならず若者世代をはじめ、幅広い世代のチャレンジや交流等の具体的な行動に繋げていきたい。

#### その他の質問

- ・「こども・若者の声を形に」プロジェクトの概要
- ・高校生・大学生のサードプレイスについて当事者からの意見聴取や実証実験の取組

## 藤本 晶 みらいの風



### 午前5時間制草津プランの周知

**議員** 午前5時間制について、こどもたちへの説明はどのように行っているか。年間を通して、こどもたちと話をする場が必要だと考える。

**市** 制度導入が令和8年度と児童にとっては先のことであるため、現時点で児童への説明は行っていない。令和7年度のモデル実施の際には、各校で制度について説明をするとともに、実施後に児童へのアンケートを行いたいと考えている。また、制度導入後もアンケート調査にて児童の意見を聞いていきたい。



### 小・中学校のプール環境について

**議員** 全ての小・中学校でもインストラクターによる専門的な指導を受け、安全な水泳学習を実施する予定はあるか。

**市** 今後、全ての小・中学校で屋内プールを活用することについては、令和7年度からの老上小学校と令和8年度から予定している常盤小学校の2校による水泳学習の実績を踏まえ、検討を進める。

#### その他の質問

- ・午前5時間制草津プラン(説明会・一時預かり)
- ・小・中学校・保育施設の熱中症対策

## 中嶋 昭雄 輝勢会



### 湖辺エリアの新たな賑わいの創出

**議員** 道の駅草津の用地取得の可能性や見通しと、湖岸沿いの用地取得に向けた検討を合わせて取り組んでいただきたいが、市の見解を伺う。

**市** 道の駅草津のグリーンプラザからすまの隣接用地については、土地所有者より、リノベーションにかかる事業協力の意向をいただいております。今後、価格や時期など諸条件について交渉を進めていく。湖岸沿いの用地については、道の駅草津リノベーション構想に基づき、ふれあい広場を活用した新たな付加価値の創出の内容を踏まえ、考えていく。

### 企業誘致などの取組

**議員** 企業誘致の進め方についておよび、ネットワーク強化のため、企業誘致に携わっている方を非常勤の職員として活用することについて市の考えを伺う。

**市** 企業誘致の進め方については、企業情報やネットワークを有するデベロッパー・ゼネコンへのヒアリングを行い、市への進出意向を持つ企業との関係構築が重要であると考えており、現在実施している産業用地創出可能性調査業務の中で企業ニーズを確認し、企業立地に適した土地の選定を実施しているところである。非常勤職員の提案については、民間ノウハウを活用しながら進めていくが、企業立地に精通した人材の活用も有効であると考えている。

#### その他の質問

- ・立地に関心を示す企業に対してのアプローチ

## 藤井三恵子 日本共産党草津市議員団



### 国保税保険料引上げやめよ

**議員** 夫婦2人と小学生1人の給与350万円の保険料が、市の試算では4月から約13%の引上げ提案で、4万8,000円増え、40万8,600円となり、あまりにも負担が重い。担税能力と上限額をどう考えているのか。

**市** 応益、応能負担の原則他、低所得者層に対しては軽減制度により抑えつつ、高額所得者層に対しては上限を設け各所得者層に応じた保険料を算出しているため、担税能力に応じた負担と考える。

### 病児・病後児保育の充実を

**議員** 今年3月末で、病児・病後児保育施設が一か所閉鎖されるとのことであるが、代わる施設の充足整備と対応についての見解を伺う。

**市** 病児・病後児保育の実績は、今年度末では1,298人を推計。4月からは、栗東市内の保育室の協力体制で受け入れが可能で、周知していく。また、新整備については、市内の医療機関や保育所運営法人に対し調整を図りつつ、なるべく早く整備検討したい。

#### その他の質問

- ・就学援助(学生服・標準服などのリユース活動の促進)

## 山元 宏和 輝勢会



### 伝統文化継承への市の積極的な取組

**議員** 11月議会では、保存団体などに丁寧な説明をし、寄り添った支援を続け、市として地元での伝統文化継承を支援していくと答弁があった。しかし、当初予算を見る限り、そのようには見えないことから、この件について伺う。

**市** 当初予算については、保存団体に地域の実情をお聞きしながら必要な経費を計上しており、今後も地域に寄り添いながら伝統文化継承を支援していきたい。

### 後継者不足などの問題

**議員** 文化財の保存活動には、地域の主体的な意思が必要と答弁があった。しかし、地域には後継者不足の問題や作業小屋設置などの課題がある中で、さらに行政が地域に関わっていくべきだと考えるが、いかがか。

**市** 議員ご指摘のとおり、近頃の地域の在り方やコミュニティの現状は変わってきていることから、それぞれ地域の実情に応じて地域と共に考えていく。

#### その他の質問

- ・自然環境保全地区など環境、保全などの活動への取組

## 土肥 浩資 市民派クラブ



### 文化芸術活動の担い手育成

**議員** 活動の担い手の高齢化や後継者不足等の課題を抱える市内各地域における担い手育成についての取組状況は。

**市** 令和7年度はアーツスクールを拡充し、文化芸術担い手育成事業として、文化ホールや地域まちづくりセンター等の身近な場所で、多様なジャンルの初心者向け連続講座を実施していきたいと考えている。

多くの方に活動を始めるきっかけとしていただきたいと考えている。

### 文化芸術活動を通じた健康増進

**議員** 「草津市文化振興計画」と「第3次健康くさつ21」の連携を強化し、健康増進プログラムを共同開発する考えはあるか。

**市** 文化を活用し、地域の課題解決や活性化に結び付け、魅力あるまちづくりに取り組むことは、市民の健康寿命の延伸とQOLの向上を図る上で非常に有効な視点である。

先進事例もあることから、両計画の連携を強く意識した取組を教育委員会と共に調査・研究していく。

#### その他の質問

- ・結婚相談支援費補助金の必要性
- ・認知症予防における文化芸術活動

## 伊吹 達郎 輝勢会



### 高齢者等ごみ出し支援事業

**議員** ごみ出しが困難な高齢者等の支援事業案の方法と対象世帯について伺う。

**市** 地域の共助でごみ出し支援を実施されることにに対し市が支援を行うコミュニティ支援型と、支援団体がない等の地域において直接支援型を実施する。対象世帯は、同居者全員が要介護2以上や、身体障害者手帳等を所持しているごみ出しが困難な世帯などである。過去からの課題であり、先送りができないことから、モデル地区を設けず市域全域で開始する。

### 指定管理者制度の余剰金

**議員** 笠縫東まちづくりセンター指定管理料の4分の1の余剰金が発生しているが、指定管理料の見直しや余剰金返還を求めないのか。返還ルールをつくらないのか、伺う。

**市** 余剰金発生は指定管理料の算定に影響がなく、余剰金返納は修繕料によっては発生する場合もあるが、創意工夫で生み出された余剰金であるため返納する必要はないと考える。横浜市など、他の市町では余剰金返還規則があり、ルールづくりは調査研究していく。

#### その他の質問

- ・地域まちづくり協議会への指導

## 遠藤 覚 草政会



### 市立こども園、収支▲要改善

**議員** 民間こども園との対比で、収支は大きく赤字。利用率も低い。公の役割を明確にし、早急に改善に取り組む必要がある。

**市** 効率的な運営の視点は重要。保育士確保と利用定員までの受け入れに努めながら、収支になじまない特別支援等の地域の中での役割を担っていく必要がある。幼稚園型認定こども園については、開所時間の短さを要因とする利用率の低さが収支のマイナス(▲)につながっていると認識しており、開所時間延長の検討に取り組む必要がある。

### GIGAスクール 旧端末のデータ処分

**議員** 令和7年度、全小・中学生に配布整備しているパソコン端末の更新予定。更新内容と旧端末の処分と個人情報を含むデータ消去について伺う。

**市** 小学校ではiPad端末を9,021台、中学校ではWindows端末4,638台を約8.5億円で整備予定。端末内のデータは、個人情報漏洩防止のため、校内等で復元困難な状態までデータ消去、引き渡し後抹消処置完了証明書を求める。小型家電リサイクル法に基づき、適切に再資源化を行う。

#### その他の質問

- ・地籍調査の必要性
- ・土地境界のみなし確認制度等の周知



# 議会を傍聴しませんか

令和7年6月定例会(予定)



日	月	火	水	木	金	土
6/1	2	3	4	5	6 10:00～ 本会議 開会	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17 10:00～ 一般質問	18 10:00～ 一般質問	19 10:00～ 一般質問	20 9:30～ 総務 常任委員会	21
22	23 9:30～ 文教厚生 常任委員会	24 9:30～ 産業建設 常任委員会	25 9:30～ 予算 常任委員会	26	27 10:00～ 本会議 閉会	28

日程は、都合により変更になる場合があります。日程の変更は、ホームページでお知らせします。

## 傍聴方法

- 本会議の受付 市役所4階 議場傍聴席
  - ①傍聴者名簿に記入
  - ②傍聴資料を受け取り入場
- 各委員会の受付 市役所3階 議会事務局受付
  - ①傍聴者名簿に記入
  - ②各委員会室前にて傍聴資料を受け取り入場

## インターネット中継視聴方法

- 本会議の様子はこちらから視聴できます。



## 会議録検索方法

- 会議録はこちらから検索・閲覧できます。



## 高校生との意見交換会

実施  
予定!



令和7年  
7月24日(木)  
市役所本会議場  
委員会室等にて



- 草津東高等学校
- 草津高等学校
- 玉川高等学校
- 湖南農業高等学校
- 光泉カトリック高等学校
- 綾羽高等学校



▲昨年度の意見交換会の集合写真



昨年度の様子は  
こちらから!

## 草津市議会ホームページ

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shigikai/>



スマート  
専用ア  
プ  
リ



マチイロ



SideBooks  
(ちいさ本棚)



## ご意見・ご質問をお聞かせください

本号に記載している内容等について、市民の皆様からのご意見・ご質問をお待ちしております。

いただいたご意見をもとに引き続き、より良い議会だよりの作成に努めていきます。

【草津市議会】〒525-8588 草津市草津3丁目13番30号  
TEL.077-561-2413 / FAX.077-561-2485  
Eメール gikai@city.kusatsu.lg.jp



## 広報広聴委員会

### 会派選出

- 輝 勢 会……………横江 政則
- 草 政 会……………遠藤 寛
- 市民派クラブ……………杉江 昇
- 公 明 党……………西垣 和美
- 日本共産党草津市会議員団……………藤井三恵子
- みらいの風……………藤本 晶
- 草津維新の会……………野村 友子

## 編集後記

前号では、議会だよりの読者アンケートへのご協力ありがとうございました。皆様からの貴重なご意見を参考に、絶え間なく変化を続けてまいります。

今後におきましても、より多くの皆様にご覧いただき、さらなるご意見をいただきたく思いますので、よろしくお願いたします。

草津市議会広報広聴委員一同

アンケート結果は  
こちら!

